



Contents

- P.2～3・・・もっと知りたい！サポセンのこと@4月～9月
- P.4～5・・・第8回 茅ヶ崎維新カフェ・第9回 <昼でも>よるカフェ開催！
- P.6・・・「知って得する！お金のアレコレ」
市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会
- P.7・・・市民活動げんき基金補助制度 / [連載]さぽちゃんが行く！
- P.8・・・ちがさき市民活動サポートセンターからのお知らせ

もっと知りたい！サポセンのこと

『市民活動応援プログラム』～実施報告～

2015年4月～9月

『ユースボランティア茅ヶ崎 2015』7/22～9/15 “あなた”ができる時にできるコトをはじめてみよう

中学生から大学生くらいまでの青少年 97 名が、福祉/保育/環境/国際/文化など 21 の施設や団体でボランティア活動を体験。8/28 の交流会「カフェ de ボランティア」では各々の体験をふりかえり、感動したことや苦労したことなど、参加者全体で共有しました。

- ・地域貢献している実感をもてた
- ・感謝され、うれしかった
- ・人前で声を出すことが出来た
- ・命を預かる大変さや信頼関係を築く難しさを感じた
- ・早朝の仕事や日中の暑さで体調管理が大変だった

新規受入れ 3 団体からも「手ごたえがあった」「若い人のパワーや柔軟性に助けられた」など嬉しい感想が寄せられました。部活動や習い事に多忙なワカモノが、連日の猛暑日に負けずに体験したボランティア活動。将来に向けて大きな成長につながると期待します。



▶海でビーチクリーンを体験。
熱い中、頑張りました！

『第12回かながわイーパーツリユース PC 寄贈プログラム』 21 団体に 28 台を寄贈！

企業より寄付されたリユース PC 寄贈により市民活動団体の情報化支援をするプログラムの神奈川版。認定 NPO 法人イーパーツと、県内 10 の支援センターとの共催で実施されました。

第 13 回募集期間は 2016/5/10(火)～7/10(日)を予定。今すぐパソコンがほしい団体は、イーパーツ HP にて全国版をチェックしてみてください。インターネット公募によりリユース PC 他カラーレーザープリンタや周辺機器等の寄贈プログラムも多数実施中です！

▶ <http://www.eparts-jp.org/>

『視察・研修受入、講師派遣』

4/10 茅ヶ崎市新採用職員研修(前期)講座 受講者 70 名

6/17 ボランティア大学講座「市民活動」 受講者 70 名
@茅ヶ崎市社会福祉協議会

9/8 生涯現役応援窓口コンシェルジュ研修 5 名



◀市の新人職員研修。「海へのアクセス」や「空き家対策」など、行政と NPO が協働して取り組むとっとよくなる事業の企画づくりにチャレンジ！

～予告～

参加するたび、私のまちが好きになる

『ちがさきサポセン☆

ワイワイまつり 2016』

2016/2/27(土)に開催決定!!

テーマは「市民活動と食(仮)」。
メイン会場を中央公園、第 2 会場をちがさき市民活動サポートセンターとして市民活動を盛り上げます！
まつりの概要がわかる、他団体とのコラボがうまれるキックオフ交流会は下記の日程で。

11/13(金) 18:30～20:30

11/14(土) 10:00～12:00

参加団体の募集も開始します！

ソーシャルビジネス入門講座 全 2 回

サポセン初のソーシャルビジネス講座。継続した事業として社会的課題の解決をしていくにはどうしたらいいのか…。

第 1 回は山岡義卓さん(神奈川大学経営学部准教授)による理論編(講義+ワークショップ)。

第 2 回は地元の実践家、薬品孝久さん(NPO 法人湘南スタイル 理事長)に体験談などを率直に語っていただきます(カフェ形式、飲み物つまみ付き)。ぜひご参加ください。



▲スタイリッシュなグレーのチラシが目印！

第 1 回 10/17(土)15:30～17:30

@ちがさき市民活動サポートセンター

第 2 回 10/24(土)17:30～19:30

@ハスキーズギャラリー

「ちがさき市民活動ガイドブック 2015」発行



市民活動ガイドブック掲載数 341 団体!!

掲載団体は昨年度から 24 増えました。分野別に多いのは、福祉 97 団体、文化・スポーツ 94 団体、子どもの健全育成 74 団体。元気なシニア世代の生きがいづくりや子育て世代の交流活動が活発になっています。冊子はサポセン他市内公共施設にて配布中。

誌面には、ボランティアや NPO 法人の基礎知識、サポセンの活用法のほかに、市内の主な施設や地域メディアの一覧などお役立ち情報も掲載。活動への参加や団体立ち上げ他、団体間のネットワークづくりにご活用いただけます。

最新情報は「サポセン HP▶市民活動団体情報」をご覧ください。

市内「民間レンタルスペース」ミニ冊子も同時発行

イベント・展示会・ワークショップ等に利用できる、市内 10 のレンタルスペース情報をまとめたミニ冊子を作成しました。サポセン窓口にて配布していますので、こちらもぜひ活用ください。民間レンタルスペースについての情報提供もお待ちしております！

FM83.1 レディオ湘南に市民活動団体が出演！

茅ヶ崎市広報番組「はまかぜ ちがさき」にて、5 月より新たに市民活動団体の活動紹介コーナーが始まりました！毎月第 4 水曜日 10:00~11:00（再/土曜日 11:30~12:00）の時間帯の中で、イベントや活動の紹介、活動にける想いやおもしろさについて、DJ・HAGGY さんと 7 分間のトークセッションを行います。ぜひお聴きください！

■ 今後の「はまかぜ ちがさき」出演団体(予定)

10/28	11/25	12/23	1/28	2/25	3/24
湘南 Liebe	湘南 SHOW 点	平和を考える 茅ヶ崎市民の会 実行委員会	茅ヶ崎民話の会	ちがさき市民活動 サポートセンター	にゃんとも楽しい 算数・数学

NPO 講座 2015



日時：9/4(土)13:30~15:30

場所：ちがさき市民活動サポートセンター

参加：23 名

ゲスト (順不同)

- 神奈川新聞社 ■(株)タウンニュース社
- (株)湘南リビング社 ■(株)ジュピターテレコム
- 藤沢エフエム放送(株) ■(特非)湘南スタイル



地域密着のメディアがサポセンに集結！

地域メディアと市民活動団体が顔の見える関係をつくるきっかけづくり、また記事掲載のコツなどを学ぶ、という主旨で昨年に引き続き 2 回目の開催となりました。各メディアの紹介、質疑応答。そして個々に交流をするフリータイムと、2 時間の中で盛りだくさんの内容でした。

地域のメディアが一同に会する滅多にない機会。「各メディアの特徴が肌で感じられた」「メディアという遠い感じがしていたので、直接いろいろと連絡していいよという話が聞けてとても参考になった」「掲載への取り掛かりがつかめた」などの声もいただき、意義ある時間となりました。

各メディアからいただいた記事掲載のツボは…

- ・情報は早ければ早いほどよい。
- ・団体の特徴を出す。他との違い、メリットを強調する。
- ・発信のタイミング。社会情勢を反映していること。
- ・地域性があること。読者が参加できること。
- ・〇〇初、〇〇周年などのネタ
- ・動きがあること（テレビの場合）。
- ・あきらめずに何度もリクエストすること!!



茅ヶ崎維新カフェ

「その生き方を共有したい。」
覚悟と信念、情熱と決意を持った人に出会い
お話をする交流会。

前に進む人生の選択!

～義肢提供で、ルワンダの人々の自立を支援～

日時：6月27日(土) 13:30～15:30
場所：ちがさき市民活動サポートセンター
ゲスト：ルダシングワ真美さん・ガテラさんご夫妻
(ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト)
参加者：34名 *要約筆記あり



出会った人が義足を着けた人だから・・・

真美さんは茅ヶ崎市出身。西浜小・中卒業生。OL時代、スワヒリ語を学ぶためケニア留学中に、ルワンダ出身で右足の不自由なガテラさんと出会います。帰国後、義肢製作技術を学び、1994年のルワンダ大虐殺の後、ガテラさんとともに障がいを負った人々を支援するためのNGOを立ち上げました。これまでに約8000人分の義肢、杖、車椅子を提供するなど支援活動を続けています。

本当の自立をしてもらうために

ワンラブ・プロジェクトが目指すのは人々の「自立」。「自分たちで稼げるようにならなければ、自立にならない」と、職業訓練校を創り、技術習得など就労につながる支援を始めました。現在は、雇用や活動資金を生み出すために、レストランやゲストハウスも経営。また、肉体的・経済的な自立支援に加え、精神面でも支えたいと、パラリンピック参加など障がい者スポーツの普及活動にも力をいれています。

今回の一時帰国で日本に滞在中の3か月の間、活動資金を得るために連日のように講演活動を行った二人。活動への決意と情熱は私たちにもしっかりと伝わりました。



「今、一番欲しいものは？」の問いに

真美さんの答えは「日本食の板前さん」。自分たちのレストランで日本食を提供しルワンダに広めたい。自分でも時々おいしい日本食を食べたいそうです。そしてガテラさんの大きな夢は「2020年の東京パラリンピックに車椅子競技で出場すること」。ぜひスタジアムでの雄姿を応援しに行きたいですね。

(後日談:中古の競技用車いすの寄付があったそうです。夢が目標になりました!)

参加者アンケートより

■信念を持ってこの事業を始められたお2人に敬意を表します。身近な人たちへの愛があるからこそそのスタートだと思いました。また、先を見通し、技術習得から取り組まれた真美さんの行動力、素晴らしいです。

■前知識もなく参加させていただき、とてもショッキングな大虐殺の話を聞き衝撃を受けました。それと共にルワンダブルンジでのパワフルな活動も感動いたしました。これからのご活躍を願うと共に、私自身も何かできることがないかと刺激を受けました。

■もっと多くの人に知ってもらうのが一番の応援になると思います。

「ルワンダ・ブルンジ日記」では、真美さん・ガテラさんの活動の様子やルワンダでの日常がつつづられています
<http://www.onelove-project.info/index.html>



よるカフェ

よる＝夜～寄る～縁る～出会い、つながり、生まれる・・・

はじまりのきっかけは、よるカフェ。

何かしたい思いがサポセンに集合！ 市民活動参加のきっかけづくりや仲間づくりに。



第9回〈昼でも〉よるカフェ

かいじょけん

ちようどうけん

介助犬 と 聴導犬

日 時：8月18日(火) 15:00～17:00
場 所：ちがさき市民活動サポートセンター
ゲ ス ト：泉 友美子さん

(特定非営利活動法人 ウェルフェアポート湘南)

参 加 者：29名 (小学生8名、高校生1名含む) *要約筆記あり



介助犬って？ 聴導犬って？

身体の不自由な人のため、また、耳の不自由な人の生活を支えるために、日常生活の手助けをしてくれる補助犬。介助犬と聴導犬の育成・貸与を通して、身体に障がいを持つ人たちの社会参加と自立を支援する活動をしているのがウェルフェアポート湘南です。

「パティ」と「ひめ」の実演

「パティ」は介助犬としての役割（携帯電話やコインを拾う、靴下を脱がせる、車椅子移動の介助をするなど）を、「ひめ」は聴導犬としての役割（目覚ましが鳴ったら起こす、歩行中の危険な音を知らせるなど）を披露してくれました。「犬に最初に教えることは『人間って、なんて優しいんだ』とわかってもらうこと」と話す泉さん。「パティ」も「ひめ」も、泉さんのことが大好きだと、伝わって来る実演でした。



質問コーナー

- ◆育てる上で一番大切なことは？ ⇒いかにユーザー（補助犬を使用する人）に寄り添えるかです。
- ◆活動資金は？ ⇒ほとんどが募金や寄付金で運営しています。県からの助成金は、年に介助犬・聴導犬各1頭分だけ。他にも育成団体はあるので非常に厳しいです。

ユーザー体験

カフェ終了後も希望者が次々と体験。参加した小学生たちも、自分の指示通りに役目を果たす犬たちにびっくり！4頭の犬たちとのにぎやかなカフェになりました。

参加者アンケートより

- だらだらすることができる（大らかな）犬たちが向いている、というのが新しい発見でした。
- 泉さんの優しい口調と、ワンちゃんたちの人間を慕って一生懸命働く姿になんとも温かい気持ちになりました。
- 多くのユーザーさんとの出会いを応援しています。
- 厳しいトレーニングというより愛情深く、育てられていることに感動しました。

サポセンで開催！

よるカフェ
団体企画予告

1 よるカフェ⑩

「ラジオドラマに挑戦」

11月21日(土)
18:00～20:00

2 <昼でも>よるカフェ⑪

「防災☆ママカフェ@湘南」

11月27日(金)
11:00～14:30

3 よるカフェ⑫

「懐かしのフォークを唄おう！」

11月28日(土)
18:30～20:30

※予定が変更になる場合があります。詳しくはHP、チラシをご確認ください。

NPO 運営 の アレコレ

「知って得する！お金のアレコレ」

団体の運営をしていく上で必要な、お金のこと。

会費、寄附金、事業収入、助成金・補助金など、活動を継続させるためには、いくつかの資金源からバランスよく調達することが大切です。安定的かつ使途の自由度が高いのは会費収入。寄附金集めは、活動への共感がポイントとなります。

資金獲得の手段として、今回は、民間や国・地方自治体などから特定の事業を支援することを目的として提供される助成金・補助金についてご紹介します。

■助成金・補助金活用6つのポイント

- 助成金・補助金の性質を知る**
 - ・長所⇒まとまった金額が調達できる、団体の信用が増す。
 - ・短所⇒用途に限られる、単年度・単発が多く、助成終了後の事業継続が困難になる場合がある。
- 申請前に良く考える**
 - ・自分たちはどうしたいのかを明確に、長期的な視点で検討する。「どのような成果をあげたいのか」、「将来的に、その事業をどのように育てたいのか」など。
- おすすめの情報源**
 - ・サポセンでは HP や館内の掲示物コーナーにて随時情報提供中！
 - ・公益財団法人 助成財団センター、シーズ・市民活動を支える制度をつくる会など。
- 助成元を理解する**
 - ・応募要領を早めに入手し、良く読んで、対象、条件を把握。過去の助成実績もチェックし、不明な点があれば問い合わせましょう。
- 審査委員に伝わる申請書**
 - ・分かりやすい簡素な文章、専門用語は最小限に。書式（文字数）、添付書類、提出期限などは厳守します。
- 無理をしない予算計画**
 - 積算根拠をできるだけ詳細に備考欄などに記載し、「雑費」など細かい出費も計上。出来ないことはやらない、無理のない予算立てを！

市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会

今年度は 17 の市民活動団体等と、のべ 40 の市の担当課が、①協働推進事業実施の可能性②協力し合うことが出来る接点③それぞれの立場でできることについて話し合いました。協働することにより、より効果的に課題解決が期待できる事業の企画案は市民提案型協働推進事業として提出されます。公開プレゼンテーションは 12/5(土) (予定)

日	テーマ	市民活動団体等	行政担当課
9/11	未就学児を持つ親の新しい働き方の提案と、実現のための支援	うみのあお、そらのあお	男女共同参画/雇用労働
	消火器・感知器の備えが無い家庭への対策	茅ヶ崎ハーブを植える会	防災対策/予防
	南西部エリアの多世代交流・経済活性化について	(特非)まちづくりスポット茅ヶ崎	文化生涯学習/海岸青少年会館/ 産業振興/公園緑地/農業水産
9/12	ダウン症への保健師主体のサポート体制作り/ tomboy への紹介	tomboy	こども育成相談/子育て支援
9/15	高齢(障がい)者を消費者被害から守るための見守りネットワーク構築	消費者問題に取組むCの会	高齢福祉介護/保健福祉
9/16	市民講座等の託児サービスにおける保育士派遣のニーズについて	(特非)ワーコレたんぼひろば	子育て支援/保育
9/17	ごみ収集、処理に関わる車両等の機材のデータ分析と提言	(特非)湘南ふじさわシニアネット	資源循環/環境事業センター
	美術館と連携した子育て支援	NPO 法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会	文化生涯学習
	まちづくり・教育の本質の考え/ポータレス地域社会にする方法	湘南こども創育プロジェクト	文化生涯学習/社会教育/子育て支援
	自治体内で可能な交流、被災地について支援できること等	ちがけせん	青少年/男女共同参画/スポーツ健康
	行政の考える防災・減災と住人が考える防災・減災の隔たりを失くし、より良いかたちでの連帯を生み出すには	広域避難場所を守る会	企画経営/市民自治推進
	企業×NPO×行政の協働による新事業へのアイデアコンテスト	(特非)NPO サポートちがさき	企画経営/市民自治推進/産業振興
	小中学生向けの理科教育支援	(特非)湘南ふじさわシニアネット	学校教育指導
9/18	郊外住宅地が抱える問題と持続可能なあり方について	(公社)日本建築家協会(JIA)関東甲信越支部神奈川地域会 郊外居住研究所	都市計画/都市政策/景観みどり
	安心して健やかな次世代育てが出来る環境を目指した地域コミュニティづくり	мам 04	文化生涯学習/子育て支援
	「美育」をテーマに毎年開催している児童作品展(小学1年~6年対象)	MOA 茅ヶ崎健康生活ネットワーク	学校教育指導/文化生涯学習/社会教育
	「地域包括ケアシステム」「高齢者の社会参加」について	(特非)湘南ふじさわシニアネット	高齢福祉介護/企画経営

市民活動げんき基金補助制度

「茅ヶ崎市市民活動げんき基金(茅ヶ崎市市民活動推進基金)」を財源に、市民の自主的で公益的な活動を財政面で応援するしくみです。活動を始める、軌道に乗せるための契機とすることを目的とする「スタート支援」と、これまでの活動の拡充や、発展への次の一歩につなげるための「ステップアップ支援」があります。

平成 27 年度実施補助事業 (ステップアップ支援)

団体名	事業名	補助金交付額 (総事業費)
「さいとうさんち」運営委員会	こころを聴き、こころに寄り添う傾聴講座	250,000 円 (365,860 円)
まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎	「景観まちづくりセンター・茅ヶ崎」実証実験	404,000 円 (505,650 円)
湘南を記録する会	茅ヶ崎の別荘と文化人	302,000 円 (378,716 円)

平成 28 年度実施事業への申請スケジュール (予定)

12 月 募集要項配布開始

1 月初旬～末 企画書の提出 (団体→市)

* 募集期間中に、企画書・申請書の書き方説明会を開催します

3 月中旬 公開プレゼンテーション* 必須

下旬 選考結果通知 (市→団体)

4 月 1 日～翌年 3 月 31 日 事業実施期間



お問合せ：総務部市民自治推進課 協働推進担当 ☎82-1111(代) / 市民活動サポートセンター ☎88-7546



茅ヶ崎で活躍中の NPO を、追っかけレポート!!

さぽちゃんが行く!

げんき基金
補助団体 編

「さいとうさんち」運営委員会

2012 年設立。会員数 9 名。賛助会員 9 名。ボランティア 10 名。地域住民の憩いの場 (地域のお茶の間) として「さいとうさんち」を開所しました。これまでに利用者は延べ 3 千人以上。

地域住民の憩いの場(地域の茶の間)を開所

日中ひとりで過ごし引きこもりがちな高齢者のための居場所づくりを行いたいと思いをあたためていたところ、ご厚意でご自宅を地域に開放していただけた方があり、「さいとうさんち」がスタートしました。今では子育てママ支援など、多世代交流の場所としての役割も果たすようになってきました。

ランチとお茶で交流 (毎週水曜日 10:00~15:00)

「さいとうさんち」は参加費 300 円で食事やお茶を提供しています。取材に訪れた日は、メディアで紹介された事もありいつもより大賑わい! 「ここに来るのが楽しみ。カレーがとっても美味しい!」「今日が初めて。お友達と一緒に来ました。大家族のようで元気が出ます」と若いママたち。男性も 2~3 名いらっしゃいました。運営はすべてボランティアですが、今では



参加者が自主的にお手伝いしているそうです。

市民活動げんき基金補助事業

「傾聴ボランティアの基礎を学ぶ入門コース」実施

会員のみなさんは、「さいとうさんち」にいらっしやる方がご自分のお話をされたり、悩みをお話しされるので、それを受け留めるためには、傾聴のスキルが必要だと実感。そして、居場所を増やしていくには、傾聴ボランティアも増やす必要があると講座を企画しました。夏・秋の受講者は 60 名を超えても人気です。

「次年度は、フォローアップを行い、もっと地域に傾聴ボランティアを増やしていきたいと思います」と代表の早川さん。

市民ができるきめ細やかな高齢者支援を中心とし、子ども支援にも力を入れている「さいとうさんち」運営委員会。社会 (地域) の課題をしっかりと捉え、解決に向けて日々活動されています。私たちの活動は参加型福祉、愛情と尊厳を持って活動していきたいとおっしゃった笑顔が印象的でした。

OTHER NEWS

掲示物コーナーがもっと見やすくなりました！



館内の掲示物コーナーをリニューアル！チラシラックを導入し、チラシがより見やすく、手に取りやすくなりました。お寄せいただいたチラシはカラーでHPにも掲載されます。

登録団体対象「シニアの市民活動参加に向けたアンケート」を実施



茅ヶ崎市では10月に「生涯現役応援窓口」を開設し、シニアのセカンドライフを支援。サポセンでも団体アンケートの結果を基に、シニアの市民活動参加を積極的に応援します！

まち歩き音声ガイドをサポセンにて貸出！9/1～11/30まで



持って歩くだけで、まちのことを自動で説明してくれる音声ガイドサービスを期間限定で提供中。(主催：まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎/富士ゼロックス神奈川(株)/茅ヶ崎市)

かながわシェイクアウト(いっせい防災行動訓練)、スタッフ防災訓練



9/1 地震災害から身を守るための防災訓練を利用者さんと実施。休館日には、スタッフ全員で日頃の安全対策や災害発生時の安全確保・避難経路などを確認しました。

アリッサム・ラベンダー・ゴーヤ募金を寄付 総額 ¥14,404-



花壇に咲いたアリッサムの苗、ラベンダー、グリーンカーテンのゴーヤを皆さまにお分けしました。お預かりした募金は「市民活動げんき基金」へ寄付。ありがとうございました！

「さぼちゃんポスト」未使用切手の寄付をお願いします！！



家庭に眠っている未使用切手を「さぼちゃんポスト」に寄付していただくことで、市民活動団体を応援する仕組み。団体の情報発信の郵送費等に役立てられます。(1枚から受付)

ABOUT US

▶ちがさき市民活動サポートセンターとは

市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちがこれから活動しようと考えている人たちの拠点施設です。



▶開館時間 9:30～21:30

▶休館日 毎月第3水曜日、年末年始(12/28～1/3)

▶アクセス JR茅ヶ崎駅北口より徒歩10分程度
駐車場10台程度 駐輪場あり

▶連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7
TEL/FAX: 0467-88-7546
Eメール: s-center@pluto.plala.or.jp
ホームページ: <http://sapocen.net/>

▶指定管理者 特定非営利活動法人NPOサポートちがさき
(指定管理期間: 2013年4月1日～2017年3月31日)



さぼせんニュースレター VOL.46 (2015年9月30日発行)

編集・発行 特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき 発行責任者 益永律子